

# 寒冷地形談話会通信

1997年度第1号 1997.4.18発行

事務局：〒192-03 東京都八王子市南大沢1-1  
東京都立大学大学院理学研究科地理学教室内  
寒冷地形談話会事務局（担当、青山・朝日・杉本・福井）  
TEL. 0426-77-1111 (EXT. 3836)  
FAX. 0426-77-2589  
e-mail. aoyama@geog.metro-u.ac.jp

## ●事務局交代のお知らせ

昨年度事務局担当の明治大学に代わりまして、今年度より東京都立大学が事務局を担当することになりました。事務局の運営に関しては不慣れなことが多いため、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、寒冷地形談話会を盛り上げていくためがんばりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。寒冷地形談話会に関するご意見ご要望、例会で発表したいという方などいらっしゃいましたら、随時受け付けていますので、事務局の方へご連絡ください。

## ●1996年度活動報告

1996年度の寒冷地形談話会の活動は以下の通りです。

- ・5月例会（5月18日）  
酒井 啓氏（慶応高校・非）「昭和期における多田スクールの形成とその地理学史的意義」  
シンポジウム「今、寒冷地形談話会が目指すものは」
- ・6月例会（6月22日）  
三枝 茂氏（総研大・院）「東南極、エンダービーランド、リーセルラルセン山ろくの岩石氷河と考えられる地形」  
柳田 誠氏（アイ・エヌ・エー）「山はいつ削られるのか」
- ・7月例会（7月6日）  
五百沢 智也氏「カクネ里、大樺沢、槍・穂高の調査について」
- ・夏の学校（7月26日～29日）  
「大雪山の周氷河現象と高山植物のお花見」  
案内者：高橋伸幸氏（北海学園大）・佐藤 謙氏（北海学園大）
- ・カクネ里巡検（9月23日～25日）  
案内者：五百沢 智也氏
- ・11月例会（11月30日）  
沖津 進氏（千葉大・園芸）「シホテアアリニ山脈およびカムチャツカにおける森林限界付近の植生構造」
- ・12月例会その1（12月16日）

白岩孝行氏（北大・低温研）「カムチャツカの自然」  
・12月例会その2（12月21日）  
スライド大会および忘年会

## ●次回例会のお知らせ

日時：1997年5月10日(土)15時～  
場所：東京都立大学理学部棟3階300教室  
会場案内：京王相模原線南大沢駅下車徒歩15分  
演者・演題

川澄隆明氏(東京都立大学・院)

「最終氷期の立山における火山活動を反映した氷河変動」

松岡憲知氏（筑波大学・地球科学）

「岩石氷河について－氷河説と周氷河説，スイスアルプスの  
岩石氷河の再検討に向けて－」

川澄隆明氏は修士論文の発表です。

松岡憲知氏の発表に関連して、「岩石氷河かもしれない地形」の情報を  
お持ちの方は、写真や資料をなどをご持参ください。

## ●住所確認および連絡方法等確認についてのお願い

新名簿作成のため同封のはがきに、継続するか否か、住所・所属等の変  
更の有無、(確認のため変更の有無に関わらず)氏名、住所、所属、連絡方法  
(手紙 or e-mail；今後、寒冷地形談話会でもメーリングリストを作成し、  
事務連絡の簡素化を図っていきたいと思っています)などをご記入の上、  
ご返送ください。なお、恐れ入りますが5月10月までにご投函下さい。

## ●投稿のお願い

寒冷地形談話会通信に「こんなことを書いてみたい」ということがあり  
ましたら、ぜひ、ご投稿ください。お待ちしております(なお連絡方法とし  
てはe-mailがベストです)。